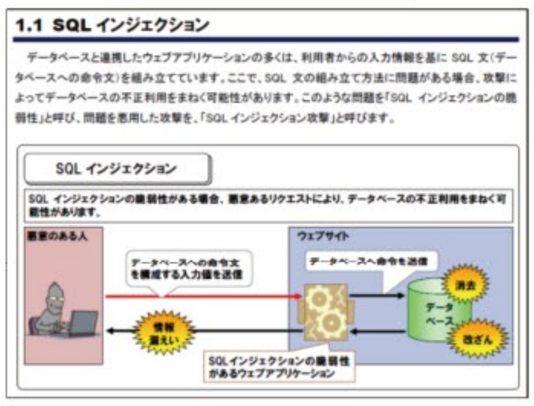
安全なウェブサイトのために

「安全なウェブサイトの作り方」シリーズ

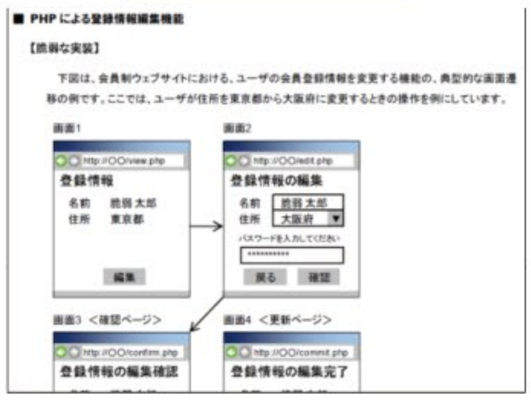
https://www.ipa.go.jp/security/vuln/websecurity.html

脆弱性を作りこまない開発

脆弱性対策



失敗修正例



実態調査

「安全なウェブサイトの作り方」では

- 11種類の脆弱性の説明とその対策を説明
- さらに、ウェブサイトの運用面からウェブサイト全体の安全性を向上させるための方策を説明
- また、ウェブサイトにおけるパスワードの運用方法を説明

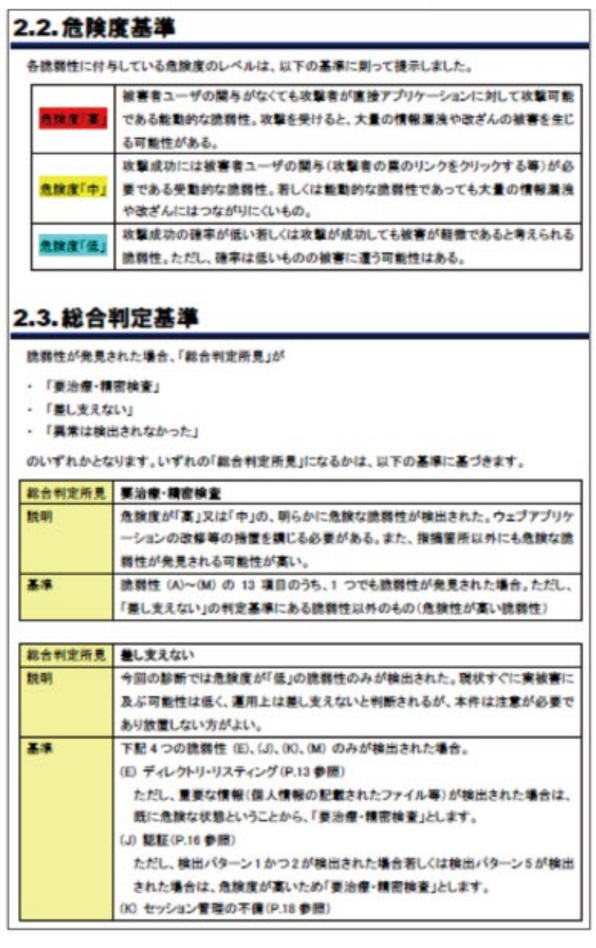
「安全なSQLの呼び出し方」では

- SQLインジェクションの脆弱性を作りこまないために、実態調査を踏まえて具体的に安全なSQLの呼び出し方を説明。

開発したウェブサイトに対して、基本的な脆弱性対策ができているかどうかを、必要かつ最小限の項目で診断。

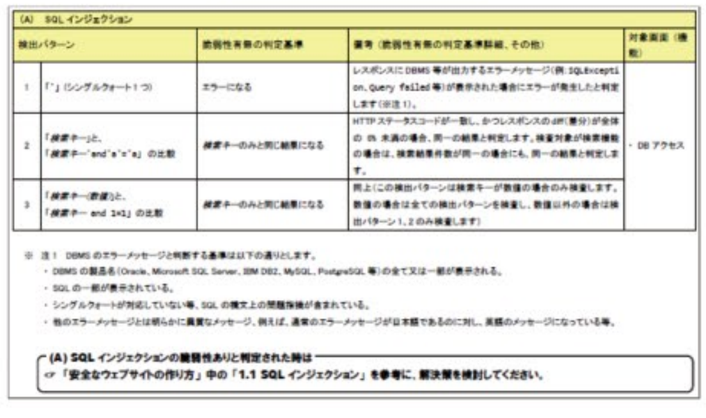
対策できていない点を見つける

診断基準



「ウェブ健康診断」を使用すれば、ウェブアプリケーションで基本的な脆弱性対策ができているかどうかを確認できます。13 種類の脆弱性について、具体的な検出パターンと、脆弱性有無の判定基準を記載しています。これまで、地方公共団体 1,200 団体の診断に活用（LASDEC）された実績があります。

検査項目



※本診断は、検査パターンを絞り込んだ診断ですので、安全宣言には繋がりません。

IPA 独立行政法人 情報処理推進機構
Information-technology Promotion Agency, Japan